

伊万里 市議会だより

第16号

平成18年
(2006年) 1月



♪14日のもぐら打ちゃー、銚子出すか、餅出すか。
出さねば嫁ごの尻打つぞ。♪ (南波多保育園)

12月補正額 6億724万円
補正後の予算
199億3,185万円
(対前年度同期△22億4,742万円、
△10.1%)

一般質問、近年最多の17人！
……9ページ～

平成17年伊万里市議会第4回定例会 会期日程

12月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
5(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等60件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
7(水)	本会議	議案等に対する質疑
8(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
9(金)	休会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
12(月)	休会	特別委員会(地域医療整備対策)
13(火)	本会議	一般市政に対する質問
14(水)	本会議	一般市政に対する質問
15(木)	本会議	一般市政に対する質問
16(金)	休会	常任委員会
19(月)	休会	常任委員会
20(火)	休会	正副委員長会
22(木)	本会議	意見書案3件……上程 意見書案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 決算審査特別委員会報告 特別委員会中間報告に対する質疑 決算審査特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 閉会

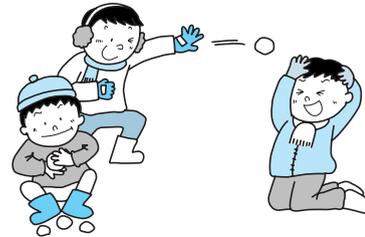
議会ホットコーナー

- ◎ これまでの議会で指定管理者への移行が決定していた28施設について、指定管理者となる団体、事業者が決まりました。
 - ◎ 国見台などの体育施設や散弾銃射撃場の使用料が改訂となります。
 - ◎ 市が保有する霊きゅう車を廃止します。
- いずれも、平成18年度からの実施です。
詳しくは常任委員会報告をご覧ください。

議員定数等議会改革検討委員会

伊万里市を取り巻く財政事情の厳しさを受けて、執行部は「財政健全化計画」(5ヶ年)を決め実施中であることを考慮し、議会も自主的に改革について議論するため、当選回数毎に2～3名で設置。これまで4回開催し、議員定数などについて検討している。なお、答申の時期を6月議会としている。

◎岩橋 紀行 ○占野 秀男 草野 謙
渡邊 英洋 貞方 喜延 岡口 重文
田中 啓三 下平 美代 浜野 義則



定例会会期日程・議案質疑など

議案質疑

ファミリーパークの維持管理

質問 来年四月に開園する予定だが、維持管理はどのようにする考えか。指定管理者制度を導入して、民間のノウハウによる経費節減を図るべきではないか。

答弁 建設部長

当面の維持管理としては、樹木の剪定・草刈り・清掃などがある。公園整備はこれからも継続するので、将来的には指定管理者への移行を考えているが、当面は直営でいく考えである。



意見書

- 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書
- 真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書
- 「一人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出しました。
(本文は、会議録に掲載します)

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

委員会に付託された、議案11件について審査の結果、全議案原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

伊万里市職員の給与に関する条例の一部改正は、職員の病気休暇、病気休職に関して現行の運用に併せて条例整備を行うもので、病気休暇(90日⇒100%給与支給)病気休職(91日目～3年間⇒1年間80%給与支給、2～3年間無給)とする内容です。

消防関係条例の一部改正は市町村合併に伴い①佐賀県市町村消防団員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少②福島町との消防事務委託の廃止と新たに松浦市と消防事務の委託に関する規約の協議等についての議案が提案されました。委託期間は平成18年1月1日から平成20年3月31までとなっています。

伊万里市税条例の一部改正は地方税法の改

正により65歳以上で前年の合計所得金額が125万円以下のものに対する個人住民税の非課税措置が廃止されるものです。

経過措置として平成18年度分は2/3、19年度分1/3減額、20年度から減額なしで住民税が課税されます。

補正予算では、市民会館、消防署のアスベスト対策費や戸栗美術館の建設促進費、市長選挙の経費、消防施設整備費等があります。



戸栗美術館(渋谷区松涛)

◎浜野 義則 ○川内 学 黒川 通信 草野 譲
樋渡 雅純 渡邊 英洋 内山 泰宏

行政視察報告

委員会では10月11日～13日の日程で盛岡市、北上市および仙台美術館の行政視察を行いました。以下視察項目について一部概要を報告します。

岩手県盛岡市

情報化基本計画(平成15～19年)が策定され、デジタルコミュニティ事業による情報発信の高度化・活性化を図るための事業が進められています。

又、地場産品の活用推進を図るため、学校給食で、県内産小麦を混入させたパン製造や「すいとん」給食の実施、大豆の消費拡大を図るため「豆腐の日」給食、「芋の子」給食等JAとの連携によってユニークな取り組みが行われています。

岩手県北上市

指定管理者制度導入は今年4月から実施さ

れ、300程度の公の施設の中で、年内に107施設に導入が計画されています。

人口増加対策事業では、転入者や育児中の母親ら、市の公募に応じた男女18名による「人口増加を考える市民会議」が設置され、市民の視点による「中心商店街の空き店舗を子育てスペースとして活用する」「転入者向けの生活を一括して提供する窓口設置」など13項目の人口増加策等が提案されています。



北上市役所にて

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会、市民病院

付託された条例議案5件、一般議案13件、補正予算議案4件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

条例改廃の主なものは、留守家庭児童クラブを長期休業中のみ利用される場合の日額利用料や、市立幼稚園で長期休業中に預かり保育をするための日額利用料設定、国見台など体育施設利用料や散弾銃射撃場使用料の改定、市が保有する霊きゅう車の廃止などです。体育施設使用料の区分を「半日／1日」から「2時間／1日」とするなど利用実態に合わせた改正で、財政健全化計画に則り1.4～2.2%の値上げ、散弾銃射撃場利用料は143%の値上げ。市の霊きゅう車は昭和33年に寄付を受けてスタートしたが、近年は民間5業者がそれぞれに保有し、利用者が激減している上、老朽化が著しいため廃止する提案で、県内の実態等の説明を受け検討しました。

指定管理者導入は次のとおりです。

老人センター（伊万里市社会福祉協議会）、3ヶ所の老人憩の家（九州産業株式会社）、障害児発達支援センター（伊万里福祉会）、休日・夜間急

患医療センター（伊万里・有田地区医師会）、散弾銃射撃場（伊万里市クレー協会）、屋内ゲートボール場（各町の体育協会）…東山代を除く。

特に、複数の事業者が応募した施設に関して、決定の理由等についての説明を受けると共に、今後の運営に関して、制度の所期の目的に基づき市民サービスの低下が無いように十分な配慮を求めました。

この他の所管事項として、小中学校登下校時の安全対策、市民図書館の町別利用状況、第3期介護保険事業計画中間報告などについての説明を受けました。



休日・夜間急患医療センター

◎堀 良夫 ○盛 泰子 前田 久年 前田 教一
岡口 重文 原口 弘 下平 美代

行政視察報告

10月18日～21日の日程で、関東地方を対象として、4事例の行政視察を行いました。6月頃から視察先を模索したものの、決算委員会開催中という理由で受入を断られた自治体が複数あったことは新鮮な驚きでした。

(1) 東京都武蔵野市：市立大野田小学校

本年度改築されたばかりの校舎。子ども達の成長に対応した教室のあり方や、身体に優しい「涼・温房」環境、地域開放施設としての地域子ども館や学童クラブ、ホールなどを備えた、うらやましい施設であり、ランチルームと家庭科調理室を隣接させている点や、コンピュータールームと隣接した図書室など参考になった。

(2) 栃木県上三川町：学校給食センター

平成14年9月から稼動。調理能力1日4,000食。委託により中学校3校、小学校7校へ3台で配送。全国的にまだ珍しいオール電化の施設。調理員にとって快適な環境ができ、やけど等の発生が少ないメリットと同時に、料理が焦げてしまうことが多く、かき混ぜ回数が増える等のデメリットがある。コスト比較では大差は無いとの事であった。

(3) 千葉県我孫子市：市民公募債、コミュニティビジネス支援

野鳥の宝庫である沼を保全するため、市民債

を発行。利息や手数料などを含めた発行経費が他の地方債の経費と同程度になるようにした結果、国債より低い利率となったが、2億円分の公募に対し市内外から10億円を超える応募があった。

(4) 東京都調布市：公的オンブズマン制度、成年後見センター（5市で共同設置）

市民の市政に関する苦情を中立の立場から処理し、改善に向けて提言する役割。当初は福祉オンブズマンとしてスタートしたが、総合型になって3年目。3人のオンブズマンが交代で週に1回相談を受ける。昭島市では、市の事業を担うNPOなどの団体や、社会福祉協議会などの財政支援団体も対象としているとの事であった。



大野田小学校（武蔵野市）

産業経済委員会

★所管 産業部、農業委員会

本委員会に付託された議案は、条例制定2件、指定管理者の指定8件、有田磁石場組合の地方公共団体の数の減少及び規約の変更1件、一般会計（農林水産業費、商工費）及び特別会計（市営駐車場）補正予算であり、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

条例制定は、大川町に「眉山ふるさと館」を設置することと、市が設置した施設を地区に払下げることにより、条例を廃止するものであります。指定管理者の指定は、それぞれ次のとおりです。

- ・夢耕房たきの（滝野地区振興期成会）
- ・林業研修センター（伊万里西松浦森林組合）
- ・木工芸センター（伊万里西松浦森林組合）
- ・城Ⅱ灌漑揚水施設（城地区揚水施設組合）
- ・大川内山キャンプ場（シルバー人材センター）
- ・伊万里有田焼伝統産業会館（伊万里陶磁器工業協同組合）
- ・海のシルクロード館（伊万里商工会議所）

- ・中央、船屋町、幸善町、駅前、駅前広場、駅前東駐車場（九州産業株式会社）

補正予算の主なものは次のとおりです。

- ・生産組織育成補助 124万円
- ・森林整備担い手育成補助 233万円
- ・銘木、古木保護対策補助 300万円
- ・林業総合センター整備補助 201万円
- ・農林地崩壊防止県事業負担 188万円
- ・伝統産業会館天井張替工事（アスベスト） 1,490万円



新築された伊万里西松浦森林組合

◎高木 久彦 ○貞方 喜延 山崎 秀明 山田 悟
 笠原 義久 岩橋 紀行 樋渡 伊助

行政視察報告

10月18日から21日に、次の3市及びアンテナショップの行政視察を行ったので報告します。

(1) 長野県諏訪市

(面積109km²、人口52,392人)

中山間地域直接支払い制度事業について

平成16年度取組み状況
 取組み集落数 4集落 31.4ha
 協定参加者 60人 交付金6,643万円
 共同活動内容 水路、農道草刈り、清掃点検整備、鳥獣害防止柵、ネット点検、周辺林地下草刈り、農業機械の共同利用

(2) 山梨県甲府市

(面積171km²、人口188,476人)

空店舗対策事業について

事業期間 平成14年度～16年度
 事業内容 家賃補助、内装・設備工事費等補助、イルミネーション事業、商店街情報紙発行ほか
 総事業費 6,272万円

補助金 国・県 3,500万円、
 市 1,150万円
 (上限400万円/年)

(3) 静岡県沼津市

(面積187km²、人口212,038人)

栽培漁業の取組みについて

市内漁協数 4漁協（うち2漁協で養殖）
 主要魚種 アジ、タイ、ハマチ

養殖経営体及び生簀数

組合数	正組合員数	養殖経営体	生簀数
静浦漁協	200	12	111
内浦漁協	214	42	613

(4) 東京都アンテナショップ

(むらからまちから館)

全国1,000品目展示・販売



栽培漁業の取組み（沼津市）

建設委員会

★所管 建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案2件、一般議案3件、補正予算10件について、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

都市公園条例に一部改正により、建設中の伊万里ファミリーパーク（愛称：いまり夢みさき公園と決定）が平成18年4月から都市公園として一部供用開始されます。なお、伊万里市橋公園は廃止をして民間に売却されることになります。

ファミリーパークの指定管理者導入について審議の結果、建設部の答弁では、一部開園するなかでどのような管理が必要になるのか、園の施設が整えば管理者をお願いしたいが当分の間は市が管理を行うとのことであった。一般議案のうち市道認定については、今回申請があった27件のうち、課内における事前審査で認定条件に満たないと判断された路線が

10件、伊万里市道路管理委員会の審議で落とされた路線が1件あった。その結果、今回は15路線が新たに認定されることとなった。今回の路線の認定・廃止・変更によって路線数では1,736路線に、総延長では92万1,897キロとなった。



開通へ向けて 黒川松島線バイパス

◎福田 喜一 ○満江 洋介 島田 布弘 前田儀三郎
占野 秀男 田中 啓三 岩本 盛房

行政視察報告

11月8日から4日間の日程で、石川県輪島市および小松市の先進地視察を行ったので、その結果について報告します。

(1) 石川県輪島市

輪島市は能登半島の北端に位置し、漆の里として、又朝市でも有名な所である。

マリンタウンプロジェクト：輪島港を中心として地域を海・陸と一体的に整備し、地場産業や漆文化の振興を図り、市民の共通財産である海港をさらに魅力あるものとし、都市のアメニティ空間の確保を図ることを目的に石川県と輪島市が共同で事業に取り組んでいる。海面の埋立面積は全体で24.7haあり、客船埠頭の整備も行われている。

(2) 小松市

安宅海岸再生事業について説明を受けた。日本海の荒波を防ぐ海岸侵食対策工事として人工リーフを海岸沖に敷設されている。年々侵食が進むため、海岸保全対策の工事は大変なようであった。

また、上水道事業の一部として、平成6年度より水道の水源である霊峰白山の伏流水の美味しさをアピールするために始められ、平成11年に「小松市名水事業」として商業化を図り、ペットボトルに詰めて販売が開始された。商品名「白山水流」として、2ℓと500mlの2種類が販売されている。

両市とも、現地での説明も受けた。



安宅海岸再生事業（小松市）

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1. 西九州自動車道路整備

浜玉インターから唐津インターまで延長6.6kmが12月18日開通した。県北部では西九州自動車道として初めての開通となる。鹿家インターから浜玉インターまで3.8kmは平成21年度開通を目指している。

①唐津、伊万里道路について

唐津インターから松浦川を渡る橋梁、下部工が発注され工事に入っている。伊万里市域では谷口インター周辺の協議が一部、残るものの、大曲から原屋敷迄の区間、買収同意が得られ事務的協議中である。

②伊万里、松浦道路について

東インターから西インター迄の延長6.6kmで平成18年8月迄に都市計画決定を目標に環境影響評価書作成が進められている。松浦道路については9月16日都市計画決定がなされ山代インターから長崎県

境迄順次現地測量に入る予定である。長崎県側、今福から佐賀県境迄の区間では都市計画決定がされており、既に測量が実施されている。

2. 伊万里港湾整備について

今年3月港湾計画が改訂され臨港七ツ島線の法線が一部、変更された。

①企業誘致について

積極的に立地勧奨が行われ立地された企業に対しフォローアップもされている。

②企業の動向

(株)名村造船所の拡張工事も竣工し本格的な操業に入られており、(株)サムコでも建屋の増築工事が進められている。

◎前田 教一	○山田 悟	山崎 秀明
岡口 重文	内山 泰宏	樋渡 伊助
岩本 盛房	満江 洋介	福田 喜一

地域医療整備対策調査特別委員会

平成17年第2回定例会において設置されました本委員会は、第3回定例会において中間報告を行いました。以後12月12日委員会を開催しましたので、その結果を報告します。

1. 地域医療整備について

①市民病院と浦之崎病院の統合を中心に中核的病院の整備について（仮に統合した場合、運営形態とその課題）②医局間の協議では、地域における中核的病院は2次救急医療を目指すべきであり地域完結型の医療提供体制をまとめることとなっている点で共通認識が得られているようである。③担当部長等が12月に社会保険庁を訪問。国の考え方とスケジュール等について情報を得た。④平成18年夏頃に国が新たに策定する整理合理化計画により、全国の社会保険病院の整理統合が推進されるため、この時

期より前に市が主導権をもって国へ提案していくことが重要である。この判断においては、昨年10月に民間医業コンサルタントへ発注した「新病院整備可能性調査」の結果が1月末に報告されることとなっており、これを受けて基本構想をまとめる。

新病院整備は、市民の期待も大きく、地域医療の水準を下げないことが絶対条件であり、現場の声、市民の声を汲み上げた態度決定が必要となる。

基本構想において、本特別委員会の見解が十分に反映されるよう、調査結果や統合における協議内容等については当委員会へ速やかに報告されることを望む。

◎下平 美代	○前田 久年	樋渡 雅純
川内 学	堀 良夫	高木 久彦
笠原 義久	田中 啓三	浜野 義則

平成16年度伊万里市企業会計決算審査特別委員会

3企業会計の決算審査を実施し、認定をいたしました。主な意見要望は下記のとおりです。

1. 水道事業特別会計決算について

- ①過年度分の未収金について：減少はしているが、なお一層の回収努力をされたい。
- ②鉛管の撤去敷設替が進められているが、市民の安心のために早期完了を望む。

2. 工業用水道事業特別会計について

- ①経営的には当面心配ないと見るが、恒久的安定経営には配水量において現在の日量13,000m³を18,500m³にまで増量する必要があるので努力されたい。
- ②企業の動向によっては、さらなる水源確保が大きな課題になると思われる。

3. 国民健康保険病院事業（市民病院）特別会計決算について

- ①当年度は療養環境の整備に重点が置かれ、駐車場の拡大や医療機器の整備がなされているが、さらなる充実を望む。
- ②企業訪問による健康診断の促進、救急車両との連携強化など努力されているが、1億6,619万円の赤字であり、累積欠損金は6億9,203万円となっているので、さらなる経営努力をされたい。

なお、一般会計より補助金出資金として1億4,416万円の受入がなされている。

◎満江 洋介	○渡邊 英洋	前田 久年
貞方 喜延	川内 学	笠原 義久
原口 弘	田中 啓三	

平成16年度伊万里市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会

先の9月議会で「継続審査」となっていた「一般会計及び8特別会計」の決算審査を6日間にわたり委員会を開き審査しました。

この結果、意見、要望を付し認定すべきと決定、12月議会で報告し、全会一致で承認されました。

審査の途中で出された主な意見、要望は次の通りで今日の厳しい財政状況の中、財政健全化計画で、①収納率向上を図る、②経費の節減、合理化を行う、③使用料や補助金の見直しなど、全体で痛みを分かち合う政策が行われ一定の成果はあったと評価できますが、今後も経費節減などの努力を求めました。

予算執行状況は前年度に比べ向上しているが、予算の流用、充用は前年度決算委員会で指摘されたにもかかわらず、大幅に増加し安易な流用も見られる。慎重に対応すべきとの指摘を行いました。

8特別会計のうち5特別会計が赤字決算となっており、特に国民健康保険特別会計は国保加入者が増える一方、不況で生活困窮者が増えている。納税意識の向上と収入未済額解消へ今後とも効率的な対策を取り組まれるよう意見と要望をしました。

◎占野 秀男	○山崎 秀明	草野 謙
山田 悟	樋渡 雅純	前田 教一
前田儀三郎	下平 美代	

一 般 質 問 (質問順)

一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
原口 弘 (一問一答)	1. 集落排水事業について 2. 情報管理について	占野 秀男 (一問一答)	1. 耐震強度データ偽造問題に伴う伊万里市の実態と影響 2. 原子力防災訓練に伴う市民の安全対策 3. 農産物の販売促進対策
内山 泰宏 (総括)	1. 伊万里市ホームページへのバナー広告と印刷物への広告導入について (1)伊万里市は、広告料等収入を確保することについて検討していく必要があるのではないかと。 2. 伊万里焼・伊万里梨を中国(大連市)で販売した成果について (1)伊万里市は、この事業が営業として成り立つ可能性をどのように判断されるのか。 3. 戸栗美術館建設について (1)伊万里市は、大川内山に建設が予定される戸栗美術館について、美術館・伊万里市・地域との連携が必要と考えるが、今後どのように協議されるのか。	前田 教一 (総括)	1. 市長公約に問う (1)市長給与及び交際費の削減 ①給与削減の意義と今後の考え方 ②交際費のあり方と近年の実績 2. 市政をお役所仕事から民間経営感覚で (1)助役及び収入役を民間から登用、その効果は (2)具体的にどのような提案があり実践されたのか。今後を期待するものは 3. ファミリーパーク、黒澤明記念館の大胆な見直し (1)見直し構想発表後の動き (2)一部開園後の維持管理費とその手法 (3)当初の入園予測と全面開園の時期 (4)黒澤明記念館建設へのその後 (5)現状での責任の所在 (6)サテライトスタジオの現状と今後について
盛 泰子 (一問一答)	1. 市民との協働へ向けて (1)予算要求状況、決定状況の公表 (2)コストアピールの実施 (3)公共工事への市内業者参入促進 2. 子育て支援の充実に向けて (1)障がい児の保育支援 ①保育園への入園許可 ②幼稚園への支援 (2)臨時職員の研修 (3)子育て支援センターの移転 (4)市民図書館資料費の充実 3. 原発10キロ圏問題 (1)今回の原子力防災訓練 (2)県地域防災計画の改定への要請 4. 国勢調査の総括 (1)どのような問題点があったか	渡邊 英洋 (一問一答)	1. 道路網整備(県道黒川松島線バイパス)について (1)進捗状況は (2)ルート決定はいつなのか (3)臨港道路七ツ島線の計画について 2. 環境センターについて (1)老朽化の中での稼働現状は (2)今後の改修計画は (3)「県ごみ処理広域化計画」について
川内 学 (総括)	1. 西九州自動車道の現在の進捗状況について (1)伊万里松浦道路について (2)今後の課題 2. MR(松浦鉄道)について (1)松浦鉄道経営改善計画について (2)安全性の確保 (3)地域との共存、乗車率向上対策は	樋渡 雅純 (一問一答)	1. 脱法ドラッグについて (1)青少年犯罪の実態と動向 (2)脱法ドラッグ汚染防止と対応について 2. 温暖化対策(CO2削減)への市の取り組み (1)ストップザ温暖化いまりアクションプログラムの総括と課題 (2)地域省エネルギービジョンを生かしての具体的取り組み 3. 「事務事業仕分け」の推進について (1)「引き続きやるべき事業」・「改善」・「廃止」・「民間委託」等、全事業項目のチェックを (2)「事業仕分け」に外部の視点導入を
岩本 盛房 (総括)	1. 公共施設、特に小学校、中学校の体育館使用について 2. トンネル開通事業について	高木 久彦 (一問一答)	1. 本市人口の漸減傾向について (1)将来人口予測について (2)減少ストップ対策は 2. 選挙管理について (1)佐賀市議会議員選挙の真相について (2)投票率アップについて
笠原 義久 (一問一答)	1. 市町村合併不成立後の伊万里市の今後の方向性について 2. 市街地に於ける側溝整備と維持管理について 3. 給食センターの物品購入の現況について	山田 悟 (総括)	1. 第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会について
満江 洋介 (一問一答)	1. 市民憲章について 2. 県道黒川松島線の一部供用開始について (1)木須地域の通学路等の整備と安全確保について 3. 大川内山の整備と窯業の育成について 4. 鶴・カプトガニの保護育成と環境整備について	山崎 秀明 (一問一答)	1. 独居および独居の高齢者対策について 2. 浄化槽設置の整備推進について 3. 黒澤明記念館について
浜野 義則 (一問一答)	1. 耐震強度偽装問題について 2. 通学路の安全対策について 3. 2030年の各都市圏の域内総生産と人口の変動試算(経済産業省)について 4. 市営住宅駐車場問題について 5. 鳥インフルエンザ対策について	前田儀三郎 (総括)	1. 少子化対策の市の取り組みについて
下平 美代 (一問一答)	1. 小・中学校に来年度より導入決定した「応募指名制度」について 2. 障害者自立支援制度について 3. 新給食センターへの移行措置について		

一般質問

農業集落排水事業について

原口 弘

質問 農排水事業の井手野地区と宿地区の整備後の水酸化の状況と汚泥の農地還元への取組状況について。

答弁 建設部長

現在、宅内接続の方は、井手野地区が83%宿地区で65%で、水洗化推進率については今後も普及に努めます。宿地区排水処理センターから発生する汚泥は、畜産農家の協力を得て汚泥が農地還元できるかを調査した結果、完熟堆肥として農地へ還元できるようです。しかし、周辺には畜産農家が多く汚泥堆肥の需要も少なく当面汚泥業者への委託を考えています。

情報管理について

質問 本市の情報管理の状況と個人や庁内のパソコン

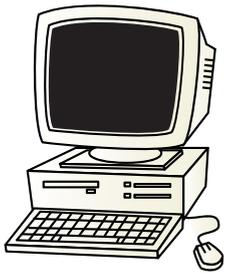
の持込や持ち出しの管理。また、業務資料等をフラッシュメモリー等に保存し庁外に持ち出した時の管理は。

答弁 情報広報課長

個人のパソコンの持ち込みは原則禁止。セキュリティ上問題が無いと判断されれば条件を付して許可。データの外部記録媒体への保存は各端末の操作履歴を収集保存して管理し、庁外に持ち出し外部に提供する事は所属長の許可が必要で

答弁 市長

市民の皆さんの貴重な情報や個人情報適正に管理し事故が起きないように危機管理を徹底して参ります。



戸栗美術館建設について

内山 泰宏

質問 戸栗美術館建設によって伊万里市の町づくりをどのように進めていくのか。

答弁 市長

美術館が来ることよって焼き物の伝統と心髄の追求を観光振興に生かしていきたい。美術館側との協議の中で伊万里市が所持している美術品も、地元コーナーとして展示できるように検討してもらっている。町づくりを生かす観点からどのように観光客を大川内山から市街地に向かせていくか、市全体として、観光戦略をどのように捕えるかが重要な視点と考える。戸栗美術館が来ることによって大宰府市に建設された国立九州博物館、有田町の九州陶磁文化館と連携して、「やきもの」の観光交流が必要ではないか。そのため

に、さらなる資源を発掘して今後の観光の町づくり、文化の町づくりを進めていきたい。

伊万里焼、伊万里梨を中国(大連市)で販売された成果について

質問 当分の間、行政主導で続けていく必要があるのではないかと。又、PRも積極的にしていく必要があるのではないかと。

答弁 産業部長

販売については、他に第三、第四のブランドを加えてやるのではないかと。又、短期間の販売ではなく常設販売という事を視野に入れて取り組んでいる。PRの方法としては、大連市側に伊万里・伊万里梨などの販売についてホームページ等で紹介してもらうよう提案している。又、伊万里市においても大連市での販売について紹介しておく。

子育て支援施策の充実

盛 泰子

質問 ①障がい児の保護者は療育に時間が必要で就労できない。保育園入園条件の緩和を②障がい児を受け入れている幼稚園への支援を③公費による留守家庭児童クラブ指導員研修を④子育て支援センターは手狭。移転が必要⑤子育て支援の観点からも市民図書館資料費充実を。

答弁 市民部長・教育部長

①申請者の状況を良くお聞きしながら判断していく②まずは県に制度の充実を要請するが、市の責務もある③来年度からその機会を設ける④利用者も多く、午前午後に分けての開催で工夫している

答弁 市長

⑤子育て支援や知る権利の保障の意味でも図書館の役割は大きい。その認識をもって予算確保に努める。

一般質問

公共工事への市内業者参入

質問 依然として下請けに市内業者の割合が低いのではないか。

答弁 政策経営部長

直近の数字では市内業者が44%であり、若干増加している。

原発10km圏問題

質問 情報伝達訓練の形で、県の原子力防災訓練に初参加したが、一番必要なのは10km圏の拡大である。

万一の場合、農畜産物や観光への風評被害が心配であり、県に拡大を再度要請すべき。

答弁 市長

伊万里市からのこれまでの要請を受けて、防災訓練に参加できたことをひとまずの成果ととらえ、暫くは要請を見合わせたい。県主催のプルサーマル公開討論会には出席する。

(他は省略)

西九州自動車道の現在の進捗状況について

川内 学

質問 西九州自動車道が形となつて、唐津道路が誕生し、二丈浜玉間が21年度開通を目指し、今まで要望活動が行われてきた。この事業の進捗状況は。また伊万里松浦道についてお尋ねする。

答弁 建設部長

全長150キロのうち全体の47キロ約30%の供用、唐津伊万里道路は北波多インター工事着工、伊万里道路は平成18年度都市計画決定、伊万里松浦道路については、9月16日に都市計画決定2車線で、今後山代インターから長崎県境まで路線側量を実施する。

答弁 市長

西九州自動車道については道路特定財源が一般財源化の問題等があり、今後とも地域の実情を国に要望していく。

松浦鉄道について

質問 松浦鉄道経営改善計画について、平成8年をピークに輸送人員が減少。今後、施設、車両の更新、安全性の確保、乗車率向上対策は。

答弁 産業部長

松浦鉄道については、施設整備事業の実施、車両は21両を更新する。安全性については、現場部内の教育。沿線の自然を観光資源として、鉄道とウォーキングを組合わせたエコ観光商品を企画する。

答弁 市長

住民の高齢化又高校生の減少等の中、地域密着型で施設更新等、安全性の確保が必要。自治体支援については、県と共に沿線市町が一体となって支援する方向で協力し存続する。

公共施設特に小学校中学校の体育館使用について

岩本 盛房

質問 小・中学校の施設・体育館の使用について、社会教育の一環であるために、バレーボール練習の使用等については使用料は減免にされて使用料は無料とされているようですが、伊万里市の財政が非常に厳しい時なので、体育館使用時は、夜間の使用時は、照明、電気料は、「減免」でなく有料にされたらと思うけども教育委員会の見解をお伺いします。

答弁 教育部長

体育館使用等は社会教育の一環であると解釈しているが、財政厳しい時だけに、検討をしたい。

トンネル開通事業について

質問 今迄は、市長に県の方へ要望をしてほしいと考えていましたが、今回は、まず伊万里市独自で、事前調査、予備調査ができないか？大久保・滝野間を結ぶトンネルの入口から出口迄の調査をお願いしたい。調査の結果が出た時点で、国や県へ要望をお願いしたい。建設部・産業部の技術職員が優秀な人材が勤めている。是非お願いしたい。

答弁 建設部長

伊万里市独自で可能なので調査する。

答弁 市長

調査は実施するが、まず滝野地区の方々が一致団結されるのも大事と考える。



一般質問

市町村合併の今後の方向性について

笠原 義久

質問 合併任意協を解散して1年以上が経過した。市当局はその後の合併問題などの様に考えているのか。

答弁 政策経営部長

他の市町村同様伊万里市も努力をして来た。病院問題等が原因となったが厳しい財政事情の中でも、当分市単独で運営していく。先頃伊万里湾核都市研を発足させた。湾を取り巻く関係自治体の交流を深め情報を共有しながら将来像を見据えていく。

市の側溝整備の現況

質問 環境整備が進む中で側溝整備が遅れているが。

答弁 建設部長

毎年多くの要望を受けているが17年度末整備ヶ所が35%ほどある。

質問 未整備ヶ所の早期整備と、維持管理については市民が参画しようとしても限界がある。管理を含めての市の方策は。

答弁 建設部長

八谷搦海岸通り線、延命橋線を5ヶ年計画で整備推進の予定である。管理については老朽ヶ所から随時改良をやっていく。

給食センター納入業者選定について

質問 市内業者の現況は。

答弁 教育部長

学校給食会を除く市内業者の納入率は90%。

質問 学校給食会を含め市内業者の納入率を高めることは出来ないか。

答弁 教育部長

給食センターの新たなオプションを機に検討したい。

市民憲章について

満江 洋介

質問 県内、七市の中で伊万里だけが未制定だが、未来に向けて制定の考えは。

答弁 政策経営部長

市の有るべき姿や理念について、市民委員と共に調査検討中であり、来年度中に市民条例的なものを策定したい。

木須地域の通学路の整備と安全確保について

質問 黒川松島線バイパスの一部供用が開発されると、啓中付近から市民会館付近へと車の流れが予想される。ここは通学路であるが歩道が設置されていない、安全対策は。

答弁 建設部長

地元からも要望を受けており17・18年度で整備を図る。

大川内山の整備と窯業の育成について

質問 戸栗美術館の建設を契機に千本桜や竹林も含めた山全体の景観整備について。

答弁 産業部長

自然景観のすばらしさは認識しているので、今後四季を通じて楽しめるよう検討していく。

質問 作品の買い上げを含む後継者育成について。

答弁 産業部長

育成については窯業全体の問題として捉えている。買い上げについては考えさせてほしい。

鶴、カブトガニの保護育成と環境整備について

質問 保護や環境整備に、国の自然再生推進法を利用して事業に取り組んでほしい。

答弁 市長

庁内横断的な組織で取り組めないか検討したい。

通学路の安全対策

浜野 義則

質問 市では危険箇所把握と安全対策をどのように実施しているか。

答弁 市長・教育部長

今回の事件を受けて、危険箇所の再調査を実施した結果、人通りが少ない、人目につきにくい等の危険箇所が118箇所、100m以上一人で通学する児童が733名いる。

市内全小学校で危険箇所マップを作成し、危険予測・回避指導等を実施している。また、各団体等のパトロールも実施されており、活動が長期的・継続的に実施されるよう、地域のボランティア活動等に対して財政的な支援も検討していきたい。

一般質問

耐震強度偽装問題

質問 耐震強度偽装問題について市の対応は。また市内のマンションは大丈夫なのか。

答弁 建設部長

市は審査機関ではないため詳細には回答できる立場にないが、問題のホテルについて現在県で再調査が実施されている。また市内のマンションで平成12年以降建設された分について、県の再調査では強度に問題ないとの報告を受けている。市内に相談窓口設置等の計画はないが、県ホームページへのアクセス方法の確立や市民から相談があった場合は建設部で対応していきたい。



(他の質問事項については紙面の都合で省略させていただきます。)

小中学校教員に新異動制度

下平 美代

質問 ①小中学校の教員の人事異動にFA制を導入する目的 ②FA制に広募し採用された者、指名されなかった者、広募しなかった者の不協和音が生じないか ③特色ある学校づくりを宣言した学校とそうでない学校の学校間格差が拡がらないか。

答弁 教育長

①特色ある学校づくりを目ざす校長が県に申請し、この宣言校で働きたい教員が応募する仕組みで校長の裁量権の拡大と教員の能力を発揮する機会づくりの目的である。②特色ある学校づくりが目標で学校間の格差が生じるとは考えられない。学校の活性化がねらいである。

障害者の自立支援法

質問 来春4月から実施さ

れる障害者自立支援法に該当者の不安がある。①該当者への説明は行われているか。②一割負担は本人のみの収入か、世帯の収入も含むのか。

答弁 市民部長

支援法成立後仕組みについての説明は県から市へ二回あったきりで個々に説明する内容となっていない。②同一世帯が社会保険か国民健康保険かで所得の確認が違ってくる。

九月新給食センター

質問 高度な機器や立派な施設でも、働く人が機器を使いこなす準備期間とその間の人員増と試作は実際の六千食でやるべきと思うが。

答弁 市長

一ヶ月位の準備期間は必要だ。試作は百食等でなく生徒分六千食を作り夏休み登校日に試食、配送も試行し万全を期して発足したい。

駅南ホテルと有料老人ホームの現況と今後

占野 秀男

質問 マンションやホテルなどの耐震構造データ偽造問題が全国的に広がる中、伊万里市内にも波及し、伊万里駅南に建設中の「セントラルホテル伊万里」が、姉歯設計、木村建設によるもので、耐震構造に問題があることが明らかになった。

又その西側に建設中の有料老人ホームも倒産した木村建設が施工していたが今後どうなるのか市民の関心も高い。現状と今後について質問。

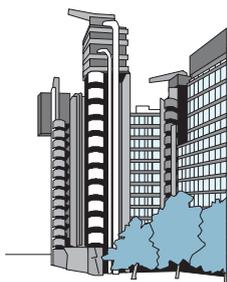
答弁 建設部長

姉歯設計、木村建設施工のマンション、ホテルが耐震構造のデータを偽造し、全国で208件、佐賀県でも四件が該当する。「セントラルホテル伊万里」も県の再検査で安全性に問題はあるが、補強工事をすれば

問題ないことが明らかになり、施工主の方が耐震構造を改善し改めて建築申請がなされ、認可があり次第別の業者で完成させたいとの表明があつており市としては推移を見守りたい。

有料老人ホームは、六階建て九十室で建設されていたが、構造計算に問題ないと発表されており、倒産した木村建設に変わって、市内の業者が施工中であり予定通り春にはオープンするとの表明があつている。

「セントラルホテル伊万里」はその後新しい業者による建築申請が認可され、当初の予定通りの完成を目指して工事が再開しています。



一般質問

市長公約に
問う

前田 教一

の職責から5%は妥当ではないか。
しかし厳しい財政事情もあり柔軟に対応したい。

質問 公約どおり市長給与5パーセントの削減が実施されてきた。尚、厳しい財政事情の中、次期を目指すにあたり今後をどの様に考えるのか。実際費について

も今日の出費のあり方、各々の成果について伺いたい。

答弁 総務部長

市民と痛みを分かち合うとの市長の理念から、市長、助役、収入役、教育長の特別職の削減額は平成14年8月以来、18年3月までで700万円以上になる。実際費については支出運用方針を定め、それ以外の経費は私費で対応されるなど、大幅に削減されている。

答弁 市長

給料削減の今後の考え方については、その任に就くことが出来るとしたら、そ

質問 民間経営感覚で行政を運営すると言うが、今日までの取り組み、その成果は。

答弁 助役

財政厳しいなか、人材資源を有効に活用することを考えた行政評価システムを活用し成果主義、目標管理、意識改革を目指してきた。今後も更に意思の疎通を図り努力する。

ファミリーパークの
維持管理費について

質問 来春、開園予定だがその管理費と、手法は。

答弁 建設部長

管理費は、1500万円程度、専任2名を配置し業者の一部委託も考えている。

(一部、割愛)

道路網整備に
ついて

渡邊 英洋

質問 県道、黒川松島線バイパス工事に於いて、2期工事区間が地すべり地帯にかかるため都市計画道路の変更が必要であり、この変更によるルート発表が遅れているがいつ頃になるのか。又今年3月に発表された伊万里港港湾計画の中に「臨港道路七ツ島線」が新たな形で計画があるが、この計画は大変必要かつ重要と思われるが市のお考え、取り組みをお尋ねしたい。

答弁 市長・建設部長

ルート変更については、昨今の厳しい財政事情、費用対効果等、県の方でも種々検討されている現状である。その変更発表については、平成18年度中には発表されると思う。

又、臨港道路七ツ島線建設については、国道204号より直接工業団地内道路

につながり大変機能性の高い道路と思う。又、今後の取り組みについては、コンテナ輸送、地元の交通事情の改善等を考慮すれば早期に事業着手できる様に市としても、強く要望活動を続けていきたいと考えている。

環境センターに
ついて

質問 「県ごみ処理広域化計画」が県から示されているが、その進捗状況をお尋ねしたい。

答弁 市民部長

平成16年7月に課長レベルでの広域化計画研究会を立ち上げ、これまで5回の会議をし、その必要性は共通認識出来たものと思われる。今後、早急に、もう一歩突っこんで、構成自治体の首長を含めた、広域化推進協議会を立ち上げ具体的に話し合っ行ってきたい。

脱法ドラッグ
について

樋渡 雅純

質問 非行・犯罪の特徴の一つに、幻覚や興奮など麻薬に似た作用がありながら、所持や規制ができない薬物「脱法ドラッグ」があるが、市の認識と、その取り組みを伺う。

答弁 教育長

拡大について、大変憂慮している。薬物乱用防止教室と共に、県・保健所・警察等と連携し啓発を行っている。キャラバンカーを通しての学習も大切で、今後、脱法ドラッグを計画に位置づけて、認識を深め、積極的な学習を強めていきたい。地域においての環境作りも重要で、一月には、伊万里市で、県主催の薬物乱用防止教室養成講座も計画されている。正しい知識を啓発し、その恐ろしさを訴えていく。

一般質問

事務事業の仕分けについて

質問 行財政改革が広まる中、県・市においても何が必要な行政の仕事か、チェックする動きがあつている。市においても、その判断をする時期がきているのではないか。

答弁 政策経営部長

市の業務も複雑多岐にわたり、市民のニーズも多様化し、増大傾向にある。現在、838もの事業に及んでいる。このような中、投資的経費は20%から10%以下になり、義務的経費は45%から55%へとその割合は高くなつてきている。人口減少・少子高齢化が高まる中、その整備・サービスが難しくなっている。いかに、どのようなものを効率的に提供していくのか、今後の課題となつている。(他に、二酸化炭素削減への取り組みについて質問)

本市の人口減少について

高木 久彦

質問 今回の国勢調査によれば、本市の人口は、5万8199人である。人口減少をストップさせる市の対策は。

答弁 市長

人口減少は市の活力低下につながり、ストップさせることが大事なことである。今後の街づくりの視点として、①歴史、文化、特産品を活かした元気な街づくりで交流人口を拡大する。②地域医療の充実と食のまちづくりで健康と長寿の街づくりで長生きをしよう。③企業誘致と地場産業の育成で、若者が活き活き働ける街づくりで雇用の場を確保する。④子育て支援、教育と福祉の充実で安心して生み育てられる街づくり、⑤元気な農林水産業の育成で、後継者の定住促進と商業の活性化で中心

商店街が輝く街づくりで「住みたいまち伊万里行きたいまち伊万里」を構築することにより人口減少をストップさせる努力をした。

選挙管理について

質問 最近の選挙においては投票率の低下がみられる。投票率をアップさせる対策は。

答弁 選挙管理委員会委員長

若年層の投票率が、他の年代層と比較すると必ずしも良いとは言えない。有権者の政治や選挙に対する関心が高まるよう、市や各地区の「明るい選挙推進協議会」の協力を得て、あらゆる機会を通じ、選挙の重要性を訴えていきたい。特に、未成年者についても、学校教育や生涯学習等の関係機関や関係団体に協力をお願いし、体育協会と連携した事業展開を行う必要があると思う。

第24回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会について

山田 悟

質問 本大会は平成18年3月18日より伊万里で開催される事になっている。このような全国規模の大会の諸準備は大変な業務と考えられるが、大会開催まで3ヶ月余りとなったが現在の準備状況はどのようなになっているか。又選手、役員のか応援者等の来訪も多数見込まれるが、本市への経済波及効果はPRも含めどのようにに捉えているのか。

答弁 教育部長

業務が多岐にわたるので主管団体だけの対応が困難と思われる。協議のうえ助役を本部長に大会実施本部を11月24日に設立した。競技会場準備や宿泊の受け入れ状況を旅行業者と打ち合わせをしている。経済効果としては宿泊者や選手役員の弁当、来訪者の土産購入、大会運営用具

等の市内業者からの購入など期待している。ソフトボールの試合だけでなく、観光PRも含め伊万里駅に観光案内所を設置し駅を軸として競技会場や大川内山へとシャトルバスの運行を計画する。

質問 今年の各種スポーツ大会では特に伊万里地区の小中高生の活躍が光った。今後の青少年のスポーツの展望についてどのように考えるか。

答弁 市長

各種スポーツ大会での活躍は市民に感動と明るい話題を提供していただき勇気づけられる。指導者の皆様に敬意を表したい。今後地域での体育指導員、教育委員会等連携を図り万全を期す。



独居および独居の高
齢者対策について

山崎 秀明

質問 高齢者が安心して暮らせるための行政施策と、通信システムの支援はないか。

答弁 市民部長

訪問連絡員や元気な高齢者が、高齢者宅を訪問する愛のひと声運動や、友愛ヘルプ活動がある。また、緊急時の通報事業がある。宅内連絡の通信機器の支援は困難である。民間の通報システムへの料金負担のことは課題として研究したい。

浄化槽設置の整備推進について

質問 快適な生活環境を望むものであるが、黒川町東部地区の浄化槽設置の推進を図ってほしい。

答弁 建設部長

地区から推進のための説

明の要望があればいつでも出向く。浄化槽市町村整備推進事業等への計画の変更は困難である。また、処理水の放流先等については、配水管布設の支援は現地向き調査、研究をしたい。

黒澤 明記念館
について

質問 15年末の再見直しの構想から事業実施への進歩が見られない。市ももっと積極的な対応を進めるべきでは。

答弁 政策経営部長

目標発表（2010年完成を目指す）が信義的な目安と考えている。現在の動きは、ハコモノより先ずソフト面のショートフィルムコンペ等を手懸け財団の認知度を高めている。定期的な理事の来伊時に市の状況を伝えているので、今後さらに連携を深め、実施推進に努めたい。

少子化対策について

前田儀三郎

質問 平成17年10月1日（基準日）に行われた国勢調査の結果について、概略の報道がされた。その結果出生者数と死亡者数が逆転したとの報道である。国も自治体も少子化対策の事業は数多く取り組んでいる。子育て支援・医療費補助・児童手当などで、国は手立てを行っているが、良い結果が出ていない。そこで本市独自の施策として結婚相談室を設ける考えはないか。プライバシーや個人情報保護法などの法的制約もあるが、行政で取組んでいただきたい。

答弁 市民部長

以前県で取組んだ、出会いプロデューサーや市の産業部での出会いの会等、取組んでいるが難しく、今後の課題として考える。

質問 不妊治療制度の助成について、県が取組んでいる不妊治療支援事業助成金の上乗せを市単独で出来ないか。

答弁 市長

少子化が現実に表れてきたと思う。合計特殊出生率は2・08が人口を維持する為に必要な値だと言われているが、伊万里市は1・87である。結婚相談には市民の協力も必要であり、子供に恵まれないご夫婦の悩みも分かる。不妊治療支援事業に対して、伊万里市も補助の上乗せを行いました。

結婚・妊娠・子育て支援など今後、施策として市も取組んで頂く事が確認できました。



編集後記



年に1回実施している常任委員会の行政視察について、今回初めて詳しい報告を載せました。12月議会では決算委員会報告があるほか、一般質問者が多かったこともあって、分量が多くなっています。じっくり読んで頂き、お気づきの点があればご教示頂けると幸いです。

◎盛泰子、○樋渡雅純、山田悟、貞方延喜、満江洋介、(顧問) 島田布弘、原口弘

発行 伊万里市議会
伊万里市立花町二五五一
☎0955-1231-2111
☎0955-1221-1277
E-mail: gikai@city.inari.jp

編集 市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社